

特集 10月から "IP 電話機" を交換します!

~「便利な生活」と「情報伝達機器の進歩」~

懸案課題の解決

現在、各世帯・事業所・学校などに設置しているIP電話機("IP")は、国の交付金等約9億円を投じて整備し、 平成23年4月の運用開始から10年が経ちました。

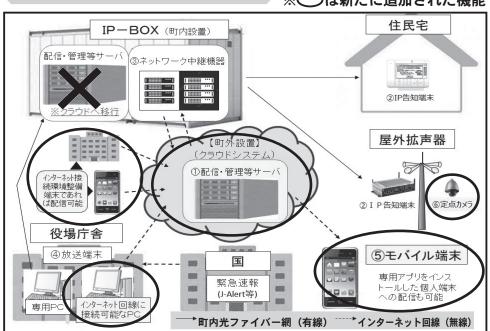
このIP電話システムの保守期限は令和3年度末で終了するため、今後、機器の故障が発生した場合には、無 料電話機能や町の行政情報・緊急防災情報など町民の皆さんへの重要な情報の配信伝達が停止する可能性があり、 その解決が課題とされてきました。

町では、今年度の国の農山漁村地域整備交付金の採択が決定したため、令和4年1月の運用開始を目指して、 約1億7千万円の事業費で新しいIP電話システムの整備を行うことになりました。

今回はIP電話システムの情報伝達の仕組みや新しいIP電話システムの特徴などについてお知らせします。

情報伝達方法のイメージ図

※○は新たに追加された機能



新IP電話機のメリット

緊急時のほか、平常時の 気象警報の周知、町民の安 否確認など役割は多岐にわ たります。特に、厳しい四 季の気象条件下での一方向 型の屋外拡声器の機能発揮 低下や短所を補う双方向型 の機能が重要です。

点在する集落の情報伝達 機能の向上は、町民の安全・ 安心な生活の維持に不可欠 な行政情報機能設備です。

現行システムの課題

- ① 放送端末を役場庁舎及び町内 I P -BOX内に設置しているため、津波に よる設備の浸水、地震による停電など で情報伝達手段が途絶される可能性。
- ② 防災情報等の取得手段は、屋外拡声 器と自宅に限定。

「IP電話機交換」の情報は、 町広報で連載する予定です。

新システムの特徴

- ① 個人情報を管理する機能(サーバ)を町外に設置して浸水 や停電等の災害への強靭化。
- ② 役場庁舎内の専用放送端末のほか、インターネットに接続 可能端末など場所を問わず情報配信が可能となり、停電時な どの迅速かつ正確な情報伝達が可能。
- ③ 情報管理の安全性が向上し、行政業務の継続性が確保。
- 4 スマートフォン等の所有者は、専用プログラムの追加によ り電波エリア圏内の海上・船上、町外でも緊急・防災情報を 瞬時に受信可能。
- ⑤ 漁港等に定点カメラを新設し、防災・減災対策を強化。

"地域おこし協力隊"は、町外から人材を れ、さまざまな町の活性化活動を通じて定住・定着 を図り、地域力の維持・強化を目指す国の地方創生 支援制度です。

現在、積丹町では4名の地域おこし協力隊が活 躍しています。

各隊員の現在の活動内容や今後の目標について 紹介します。

田村 たむら 航平

(札幌市出身)

①積丹町を志望したきっかけ と思い、 に皆川さんを紹介して頂きまし の勤務を経て食材から作りたい た時に感動して志望しました。 た。広大な積丹町の放牧場を見 肉屋・フレンチレストランで 羊飼いを探していた時

羊肉の販売・試作。 ②現在、携わっている業務 羊への給餌、 水やり、 毛刈り、

作成、

羊肉の販売、

冬越し用の

②現在、携わっている業務

主に羊の繁殖・肥育、放牧地

志望しました。

③今後の目標

きたいと思っています。 としようと思っています。 度以降飛躍するための準備期間 今年度は、 、民の皆さんとの繋がりを築 基礎を学び、 来年

限活かした「良質な1,

0 0 0

積丹町ならではの特性を最大

③今後の目標

牧草収穫など。

頭の羊を生産すること」です。

皆ながわ 加かわ 公信さ

(新潟県出身)

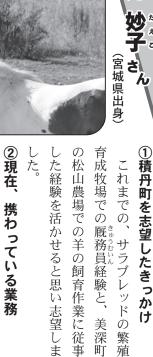
①積丹町を志望したきっかけ

だき、 たい!」と強く思い、 に心奪われ、「ここで羊が飼 存する旧町営牧場を見せていた 大学四年生の時に海と山が共 日本離れした雄大な絶景 積丹町を

菅井

これまでの、

サラブレッドの繁殖



② 現 在、 携わっている業務

作業と積丹GIN用ハーブ圃場 馬 (ポニー、 どさんこ) に関わる

③今後の目標

いきます。 3月末の間 町の発展のために任期満了の来年 誠心誠意業務に励んで



(高知県出身)

されている方がいて、 仕事に興味がありました。また、 ①積丹町を志望したきっかけ 学生時代の先輩に農業分野で活動 農業分野での

②現在、携わっている業務

思い志望しました。

験していないことを経験ができると 海側に位置する積丹町なら今まで経 身が高知県ということもあり、

日本 出

③今後の目標 積丹GINに使用するハーブ栽培。 馬(ポニー、どさんこ)の世話と

験をどんどん身につけていきたいで 積丹町でしか得られない知識や経